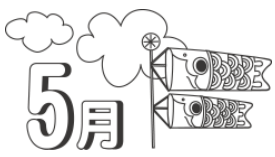


カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部

平成29年度 5月号

平成29年5月17日 発行



風薫る5月。山々の新緑が深みのある緑と相俟って、目にも鮮やかに映える美しい季節になりました。カレッジの森ではミツバツツジや藤の花が咲き、ウグイスの鳴き声も聞かれるようになりました。新しい生命の躍動が、心をわくわくさせてくれます。

本校児童も今年度になって早1ヶ月を経過し、新しい環境にも馴染んできて、意欲的に活動している様子が見られるようになりました。1年生もすっかり学校に慣れて、毎日楽しそうに勉学や遊びに励んでいます。憩いの広場（芝生の中庭）ではいろいろな学年の児童が、楽しそうに弁当を食べている姿も見られます。

さて、4月末にはご多用の中、授業参観・保護者会にご出席くださいますようお願いいたします。どの学年もたくさんの保護者の皆様にお集まりいただき、各担任が、「教育目標」を踏まえた「学年の教育方針」をご説明申し上げました。どの学年の教員からも、子ども達と一緒に精一杯頑張っていこうという意欲を感じていただけたのではないのでしょうか。

また育友会総会と参観授業を5月21日（日）に開催致します。保護者の皆様には、何かとお忙しいことと存じますが、是非ともご参加くださいますようお願いいたします。

さらに、学校説明会を5月20日（土）10時から橿原ロイヤルホテルで開催します。保護者の皆様のお知り合いの中に、受験適齢期の園児がいらっしゃれば、説明会があることをご案内いただけると幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

今後とも在校児童や保護者の皆様にとって誇りに思っていただける学校となれるよう、私たち教員も一層の努力を重ねて参りますので、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。



5～6月の学校行事

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事
5	17	水			6	1	木	夏服着用、1・2年プール、内科検診(高学年)	
	18	木				2	金	1・3年プール	
	19	金	感謝祭・児童会役員任命式			3	土	検尿（2回目）	
	20	土	検尿・学校説明会（橿原ロイヤルホテル）			4	日	あべのハルカスキッズフェスタ	
	21	日	育友会総会			5	月		
	22	月	5/21の振替休日			6	火		
	23	火	4年柏羽藤クリーンセンター見学			7	水	6年プール	
	24	水	防犯教室（低学年）			8	木	6年プール	
	25	木	不審者対応避難訓練			9	金		
	26	金	いじめアンケート			10	土	週休日	
	27	土				11	日		
月	28	日			月	12	月	創立記念日	
	29	月	学校説明会（名張）			13	火	感謝祭・永年勤続者表彰	
	30	火	5年ダイハツ工業見学			14	水	5年プール	
	31	水	2・3年プール			15	木	5年プール	

5年生高野山修行体験

4月21日（金）・22日（土）の1泊2日で、5年生が「高野山修行体験」に出かけました。日頃の甘えた生活とは違い、少しの厳しさが求められます。朝夕のお勤め（読経）は正座しなければなりませんし、行動も食事も無言です。（これが一番辛かったかも……）また、高野山は4月とはいえまだまだ寒かったです。しかし、児童達は、しっかりと修行に取り組み、自分の心と向き合う機会を大切にしてくれていました。何かを得て帰宅してくれたのではないかと思います。



食事風景



下座行



お勤め



奥の院参拝



写経



閉講式

防火避難訓練

4月24日（月）に防火避難訓練を実施しました。例年行っている訓練ですが、万が一に備えて、児童も教員も真剣に取り組みました。火災だけではなく、地震が起こったときに机の下に隠れる訓練もしました。ご家庭でも災害対策についてお子さんと話し合っておいてください。



5・6年生球技大会

4月25日（火）に5・6年児童の待ちに待っていた「球技大会」を開催しました。今年も男女別各クラス対抗のドッジボール大会です。5年生も6年生も学年の壁を越えて全力でぶつかり合いました。体育館の中は大きな歓声と声援でいっぱいです。大きなけがもなく、みんなで楽しく充実した半日を過ごすことができました。

大会の結果は以下の通りです。

男子リーグ	優勝	6年2組	準優勝	5年2組
女子リーグ	優勝	6年2組	準優勝	5年1組



遊具の広場に時計を設置しました

昨年度までの保護者懇親会の残金と昨年度の6年謝恩会の残金を、児童のために有効に活用してくださいと寄付していただきました。そこで、遊具の広場側に時計がありませんでしたので設置することにしました。児童たちは、休憩時間に時刻がわかって有り難いと心から喜んでいました。

保護者の皆様のご厚意に心から感謝申し上げます。



平成28年度学校評価報告書について

平成28年度学校評価報告書を本校のホームページに掲載しました。

今回は平成28年度育友会役員・実行委員の皆様にもアンケートにご協力いただき、その結果も合わせて掲載しておりますので、是非ともご覧ください。

昨年度1年間の本校の教育への取り組みについて、いろいろな課題が見つかりました。本年度はその課題を克服し、さらに保護者の皆様に信頼していただけるよう教員一丸となって教育に精励して参ります。

生きる力を養う

「教育は相続である」とは先代理事長がよく使った言葉です。

親は子どもに何を遺してやるのでしょうか。子どもが一生かかっても使い切れない財産を遺してやっても「杜子春」の例を見ると安心できませんが、親がお金をかけて子どもにつけてやった教育は、立派な相続になります。子どもがいったん身につけたものは誰も奪うことができませんし、幼い頃に身につけたことは一生自分を支え、助ける力となるからです。

本校では「親の願いを叶える教育」を実践してきましたが、「親の願い」とは何でしょう。それは「子ども達がきちんと一人で幸せに生きていける力を身につけてやること」ではないでしょうか。つまり、「生きる力」を養うことです。たとえ、「高い学力」を身につけ、「高学歴」を手に入れたとしても、それだけで幸福に生きていけるとは限りません。

ところで、「非認知能力」という言葉を聞いたことがありますか。非認知能力とは、テストの結果など数字で表せる学力などの「認知能力」に対し、忍耐力・社交性・自尊心・自制心・コミュニケーション力・思いやりなど幅広い力や姿勢を含んだテストでは計測できない能力のことで、将来の成功の支えとなるものとして、今、世界的に注目されています。非認知能力を伸ばすことで、学歴や仕事など将来の成功に結び付きやすいということがわかってきました。まさに、これこそ「生きる力」といえるのではないのでしょうか。ですから、目に見える力（学力）の育成だけに気を取られないように注意することが大切です。

幼い頃、両親から以下の5つのような躰を受けた子どもは、非認知能力が高いという研究結果もあります。

- | | | |
|----------------|---------------|------------|
| 1：大きな声であいさつをする | 2：嘘をつかない | 3：他人に親切にする |
| 4：ルールを守る | 5：あきらめないでがんばる | |

非認知能力の高い子は勉強も遊びも根気よく取り組み、きちんと成果に結びつくという研究結果もあります。非認知能力の高い子が、絶対に人生の成功者になるとは限りませんが、非認知能力の低い子は決して人生の成功者にはなることはありません。

本校では、挨拶、返事をきちんとする、基本的生活習慣および学習習慣を確立する、優しく誠実に他者と関わる、規範意識を高める（ルールを守る）、最後まであきらめずにやり抜くといったことを大切にして児童に向き合っています。それが「生きる力」（非認知能力）を養うと考えるからです。そして、そういう力をしっかり養うことが結果的に学力の向上や希望大学への進学、満足できる人生へとつながると信じるからです。

長い人生では、うまくいくことばかりではないでしょう。子ども達も「あんなに勉強したのによい成績がとれなかった」「頑張ったのに結果が出なかった」などと言っているのを耳にします。しかし、あきらめることなく努力を続け、自分の周囲に自分を支えてくれる人達がいて、その人達に対する感謝の気持ちを忘れなければ、いずれ成果は現れると信じます。

私たちは、本校児童を、元気で、優しく、最後までやり抜く人間に育てたいと考えて教育に取り組んでいます。

本当の意味での人生の成功者とは、自分の生き方に満足し、誇りを持っている人のことではないのでしょうか。友達や先輩・後輩に恵まれ、両親に感謝し、自分の可能性を信じて、こつこつと努力を続ける。そういう当たり前のことが当たり前にできる人こそ、真の幸福者になれると思います。

「子育て18年」と言います。その18歳までの期間を、私たち大人が、子どもの成長を信じ、過干渉をやめ、放任をやめ、愛情ある適切な距離感を持って、しっかり子どもと関わっていれば、必ず子ども達に「生きる力」を遺してやれると信じています。